

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と	
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	今後の改善方策	
多様性を育むキャリア教育の展開	(全校レベル) Ⅲ) 教員の専門性、指導力の向上  <下位組織レベル> ① 教職員の人権意識を高めるため、人権に関する情報発信を行う。  ② 児童生徒による人権啓発活動を実施する。	評価指標 ① 教職員に対して、人権教育に関する情報発信を行い、85%以上が情報を得ることができたとの回答を得る。  ② 人権に関する活動を3種類以上(人権放送、県主催の作品募集事業への応募、全校人権制作等)実施する。  活動計画 ①-1 人権新聞「サンフラワー」の紙面を活用し、職員会議の時間にフチ研修を年間5回以上実施する。  ①-2 夏期休業中に校内人権教育研修会(教職員・保護者対象)を実施する。  ①-3 人権教育課の掲示板や職員朝会を活用し、講演や研修会等の案内を10回以上行う。  ①-4 1月中に教職員に対して情報を得ることができたが、アンケートを実施する。  ②-1 さわかクラブや人権委員会の生徒による人権放送を昼休み時間に5回以上行う。  ②-2 人権ポスターや作詞作曲の制作を行い、県・市主催の作品募集事業に応募する。  ②-3 人権週間を設定し、生徒によるあいさつ運動の実施や、全校人権制作を行う。	評価指標の達成度 ① 職朝連絡や人権放送、「サンフラワー」の紙面をとおして情報発信をし、90%以上の「情報を得ることができた」の回答を得ることができた。  ② 高等部人権委員会による人権放送、県主催の作詞作曲部門と保護者ポスター部門への応募、市主催のポスター部門への応募、全校人権週間において、さよなら運動と人権制作(笑顔のなる木、ありがとうの木)を行うことができた。  活動計画の実施状況 ①-1 性教育、子どもと人権、ハンセン病、交流及び共同学習等の内容を取り上げ、職員会議の時間にフチ研修を6回実施することができた。  ①-2 8月1日に教職員・保護者対象の校内人権教育研修会を実施した。久保修氏を講師に招き、「心のバリアフリー」について講演していただいた。研修会は、80名弱の教職員と保護者4名の参加であった。  ①-3 あいぼーと徳島が主催する講演や研修会などの案内を10回行うことができた。  ①-4 5つの設問からなるアンケートを教職員に対して実施した。  ②-1 人権放送を6回行うことができた。  ②-2 美術担当教員や、音楽科教員の協力の下、人権ポスターと作詞作曲を制作し、市に7点、県に21点の作品を応募することができた。  ②-3 人権週間を小学部は11月、中学部高等部は12月に設定し実施した。全校でさよなら運動、小学部で「笑顔のなる木」の制作、中学部高等部で「ありがとうの木」の制作を行った。	総合評価 (評定) B  (所見) ① 様々な活動を通して、90%の「情報を得ることができた」の回答が得られた。サンフラワーでは、幅広い内容を取り上げ、フチ研修を行うことができた。  ② 人権ポスターは、今年度は中・高等部だけでなく小学部からも作品を応募することができた。人権制作では、小学部を単独にしたことにより、全員の作品を展示することができた。また、時期を早めたことにより、学校祭の展示の場で保護者に見てもらうこともできた。中・高等部のありがとうの木では、生徒数の7割を超える作品を展示することができた。	別紙	① サンフラワーにおけるフチ研修では、7月に実施したアンケートから関心の高かった内容をサンフラワーにおいて取り上げるようにする。  ② 児童生徒が参加しやすい・分かりやすい人権制作等の活動を考える。
	地域とともにある学校づくり	(全校レベル) I) 地域と連携した教育活動の推進  <下位組織レベル> ① 地域の行事に積極的に参加し、活動内容の理解に努め、社会性を養うことに繋げる。	評価指標 ① 市が主催する活動に1回以上参加することができる。  活動計画 ①-1 教職員及び児童生徒へ折り鶴作成の依頼を行い、「阿南市平和のつどい」へ平和の折り鶴を献納する。  ①-2 8月に行われる「阿南市平和のつどい」に参加できる児童生徒を募り、計画、引率等を行う。	評価指標の達成度 ① 市が主催する「人権フェスティバル」に1名の生徒が参加することができた。  活動計画の実施状況 ①-1 職朝や人権放送で、教職員及び児童生徒へ折り鶴作成の依頼を行った。夏期休業までに710羽の折り鶴が折られ、「阿南市平和のつどい」へ折り鶴を献納することができた。  ①-2 「阿南市平和のつどい」について、参加できる生徒を募ったが、生徒は不参加となり教員のみ参加となった。12月に行われた「人権フェスティバル」に生徒1名が参加し、表彰を受けた。	総合評価 (評定) B  (所見) ① 折り鶴作成の協力が得られ、昨年度の4倍以上の折り鶴を献納することができた。「阿南市平和のつどい」については、早朝であることや保護者に送迎をお願いする必要があること等が障壁となり、生徒は不参加で教員のみ参加となった。「身元調査お断りワッペン運動」には、保護者のみ参加された。12月の人権フェスティバルにおける表彰式は、人権ポスターで最優秀賞を授賞した生徒1名が出席することができた。	別紙

\* 「評定」の基準 A: 十分達成できた B: 概ね達成できた C: 達成できなかった